第 10 回 PIERS フォーラム （ハイブリッド方式）
「海の上を歩く英国の桟橋」（その３）

日時；令和 4 年（2022 年）11 月 29 日（火）15:00～17:15
会場；ZOOM Webinar＋SCOPE 会議室

学識経験者、学院生、民間企業、国土交通省港湾局・地方整備局、地方自治体、財団、等から 81 名の参加申込があり、76 名（ﾘｱﾙ 17 名、ﾘﾓｰﾄ 59 名）に参加いただきました。各発表についての質疑応答、総括セッションの意見表明では、リアル・リモートそれぞれから多数のご発言をいただき活発なディスカッションが行われました。
また、終了後のオンライン・アンケートに 40 名から回答をいただきました。貴重なご意見は今後の活動に活用させていただきます＜アンケート結果紹介＞。

PIERS フォーラムの趣旨
『人々が海を楽しむ桟橋』を核とする英国はじめ海外の海辺のリゾートの持つ魅力を
日本の海岸づくり、街づくりに取り入れて、地域活性化に繋げる方策をともに考える
＜フォーラムの概要紹介＞

プログラム

主催者挨拶　：　古土井 光昭（PIERS 研究会会長）　＜映像＞

セッション#1：「歩いて巡る英国の桟橋 第４回　桟橋の見える街　スワネージ桟橋」
スピーカー；**加藤　寛　（PIERS 研究会理事）**
＜発表映像＞、＜質疑応答映像＞、＜資料＞

セッション#2：「歩いて巡る英国の桟橋 第５回　ｲｷﾞﾘｽ南海岸の桟橋街道―ﾛﾝﾄﾞﾝ～ﾌﾟﾘﾏｽ」
スピーカー；**栢原　英郎（PIERS 研究会監事）**
＜発表映像＞、＜質疑応答映像＞、＜資料＞

総括セッション:「英国の海辺の街づくりの知恵を日本で生かす方策を探る」
コーディネーター；**井上 聰史（PIERS 研究会副会長）**　＜映像＞